



ふれあい・アンドヘルプ事業



デイ・サービスセンターでのクリスマス会

“友愛” “ふれあい” “たすけあい” で 明るく高齢化社会を

● 高齢者の在宅福祉事業 ●

超高齢社会の到来を控え、老人福祉がかつてないほど問われ始めています。病弱になっても高齢者とその家族が、家庭や地域の中で安心して暮らせるよう、在宅福祉サービスの整備が重視されるようになってきました。

熊本県では、在宅介護を支援するためにホームヘルパー派遣、シヨートステイ、*デイサービスの在宅福祉三本柱の大幅な拡充に取り組んでいます。

また、全国的にユニークな熊本県独自の取組として、元気なお年寄り(シルバーヘルパー)に病弱なお年寄りの話相手や介護の手助けをしてもらおう “ふれあい・アンド・ヘルプ事業” を元年度からスタート。病弱なお年寄りの励みになるとともに、社会の役に立ち、みんなに喜ばれる活動をしているということがシルバーヘルパーの生きがいとなっています。

今回ママさんたちがレポートするのは、下益城郡松橋町の特別養護老人ホーム「しらぬい荘」の施設を利用した在宅福祉事業、そして同郡小川町のシルバーヘルパーさんたちの様子です。

*ホームヘルパー派遣▶ ねたきりやひとり暮らしの家庭に介護や身の回りのお世話をする家庭福祉員を派遣する。

*シヨートステイ▶ ねたきりや痴呆のお年寄りを短期間、老人ホームでお預かりし、お世話をします。

*デイサービス▶ 体の弱いお年寄りにデイ・サービスセンターでリハビリ・入浴・食事などのサービスをする。(送迎付)

非常ベルを取り付けられたそうですけど、施設と家庭、どちらも充実させていくべきなんですよね。

只限 そうですね。どちらか片方だけに負担が掛かると、必ず無理がくると思います。例えば寝たきりの方の看護疲れで、見る方まで寝込むことになったり、どうしても二、三日家を空けなくてはならない用があったり、そういう時、シヨートステイを利用すれば安心ですよね。



只限 恭子さん

八浪 一日デイ・サービスを利用するだけでも、すごく貴重な時間を得ることができますからね。一人じゃ外出できないお年寄りも、家から出て気分転換できるし、家族の方はその間に用事を済ませることができそうですね。

只限 デイ・サービスセンターに来る



ひとり暮らしのお年寄りへの給食サービス

のを、皆さん楽しみにしておられましたね。「ここへ来てみて、自分が元気なんだってことが改めて分かった」という方や「家に閉じ込もっていた時より物忘れが少なくなった」という方がいらっしゃいました。たとえ歩けなくなっても、手芸だっておしめたみだつてできる。まだまだ他の方のお手伝いができるんだ」と思うと、お年寄りにとっても励みになるんじゃないかな。



八浪 由美子さん

只限 民生委員さんや保健婦さんたちを受け入れなかったお年寄りが、シルバーヘルパーさんたちのふれあい訪問で心を開いてくれたという話も聞きました。「この活動をするのは私の生きがいです」と熱心に話をされたシルバーヘルパーさんもおられましたね。

八浪 近所に住む同年代の方向士が、助け合い、お友達になったり…。そんなふれあい・アンドヘルプが広まっていけばいいですね。障害のある人もお年寄りも、みんなが住み慣れたところで、いろんな世代の人達と暮らし、語り合える社会が理想ですよ。

八浪 今ちょうど病人を抱えている身なので、今回の取材は身につきまされること、ためになることが多かったですね。只限 正直なところ、老人福祉について私は初め、マイナスのイメージを持ってたんです。日本は欧米に比べたら何十年も遅れていて、足りない点だらけだって…。でもしらぬい荘は、明るくてきれいで、りっぱな施設でしたね。お年寄りの方とも気軽に話できましたし、こんな所があると分かって、うれしかったです。

八浪 老人ホームが、もっともって地域に開かれて、住民のサロンみたいななれば素敵ですね。しらぬい荘では、お祭りとか四季折々の行事を大事にして、地域の人達との交流にも工夫をされてるようでしたね。

八浪 一日デイ・サービスを利用するだけでも、すごく貴重な時間を得ることができますからね。一人じゃ外出できないお年寄りも、家から出て気分転換できるし、家族の方はその間に用事を済ませることができそうですね。

只限 デイ・サービスセンターに来る